

2021年・第48回全国一斉清掃登山、クリーンハイクの呼びかけ

日本勤労者山岳連盟・自然保護委員会



登山クリーンハイクの歴史は、1960年代後半から首都・近畿圏の会・クラブが清掃登山を実施し、1974年10月に第1回全国自然保護強化月間を設け全国一斉クリーンハイクが始まりました。翌年から毎年6月第1日曜日を全国清掃登山の日と定め今回で48回目となります。2019年末、中国武漢に端を発した新型コロナウイルスの蔓延が世界を揺るがすパンデミックとなり、日本でも様相が一変する事態となりました。幸い自然保護委員会の三大企画である、自然保護講座と自然保護集会は開催実現に至ったもののクリーンハイクは主だった地方連盟が自粛中止に追い込まれ、地方連盟・会による自主的な実施となってしまいました。昨年の実績は、123の会・クラブが521の登山コースで取り組み2,237名が参加、1319.7kgのゴミを回収しました。

今年も現下コロナ禍が終息しない状況であります。とりわけ大都市では第4波が来ています。したがって制限のある環境下での実施とならざるを得ませんが、感染予防を施し実施可能な道府県連盟は、自治体とも連携し実施の方向でご検討ください。

登山コースのゴミは少なくなっており、殆んどないという報告もあり、登山者のモラルが向上していることの表れです。しかし、登山口の近くや駐車場にはゴミが散乱しているところもあります。また、産業廃棄物と思われるゴミも確認され、それぞれの地方自治体に連絡して回収するように呼びかけています。クリーンハイクは、登山者が誰でもどこでも取り組むことのできる自然保護運動です。清掃登山・クリーンハイクへの行動は、単にゴミを拾うというだけでなく、山を汚さず傷つけないという登山者のモラルを高める呼びかけでもあります。広範な登山者に自然の大切さをアピールする行動として、下記の項目について会員等への参加と行動を呼びかけかけるものです。

記

1. ゴミは山に捨てないようにし、持ち帰りましょう。
2. 登山者・ハイカーだけでなく、一般の方や外国の方にも声をかけ、ゴミの持ち帰りを呼びかけましょう。
3. トイレの問題も深刻です。携帯トイレを必ず携帯し、利用することで自然への負荷を減少させましょう。
4. すべての登山者・ハイカーが、山と緑の番人、山岳自然を守る番人としての自覚を持ち、山歩きを楽しみましょう。
5. 山岳自然破壊にも関心を持ち、情報をお寄せください。



以上